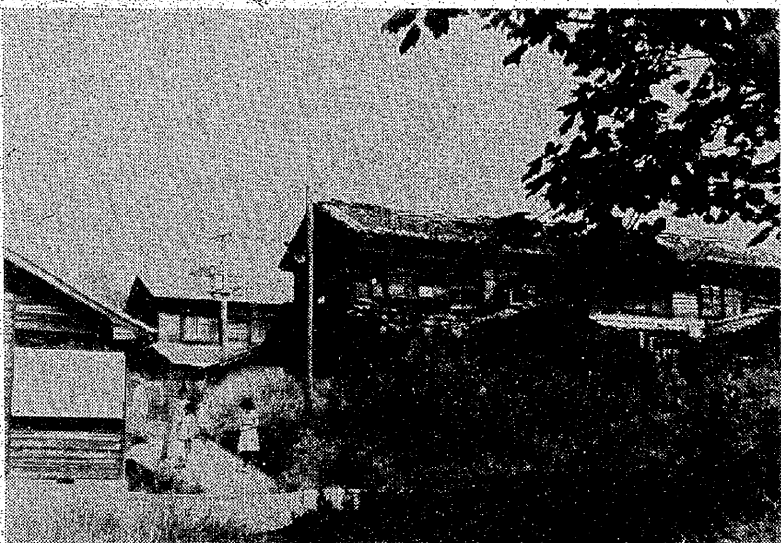


石炭委からの調査団



夏休みに、社宅のかたわらで無心になつて遊ぶ子どもたちだが、この環境はどうだ。(大砂社宅で)

高温対策に指導を

三池労組など、強く要請

二日、衆議院石炭対策特別委員会の石炭事情調査団が来山。三池労組はこの機に、「国内エネルギー資源の開発利用を基調とした政策の確立」など九項目の炭労九州地方本部の要求に加え、「一企業の坑内高温対策に対する積極的な指導」と「保安規則の改正」を要請した。

この来山した衆議院石炭対策特別委員会の調査団は、岡田利春代議員(北海道)を団長に、福岡出身の細谷治嘉、多田谷貴雄、岡田利三ら九人で編成され、一日九州に入り、二日に三池への来山となった。

産炭地現地の実情をよく調査して、今後の石炭政策に資することがそのねらいで、各地を回った調査団は、労使双方のほか産炭地自治体、商工団体など各関係方面から事情を聴取した。

まずこの機に炭労九州は、前記の国内エネルギー資源の開発を基調としたエネルギー政策の確立、そのために国内炭の完全開発と利用、保安体制の強化、未開発・閉山坑区の開発促進、労働力の確保、労働条件の向上、石炭公社の発足などのほか、長期安定的な生産体制の確立、急傾斜採炭技術の開発、助成の強化、政策に必要な財源の確保、再生産を可能とする炭価の実施、産炭地対策の継続、改善——を強く要求した。

三池労組は二日の来山を機に、特に会社の坑内における高温対策への指導の強化と、保安規則の改正を促進するよう強く要求した。高島労組も、「先進坑道の掘進による採坑についての助成の強化」など三項を要求している。

岡田団長長言

これらの要求に対して岡田団長は「個々のものでは労使関係では解決を要する部分もあるが、ナタをふるおろ、というもので許国としても改善すべきところは改善されることにはなぐ、猛反対をく善するよう努力したい」と、そのうことは必至だ。

解法をはかるべき部分もあるが、ナタをふるおろ、というもので許国としても改善すべきところは改善されることにはなぐ、猛反対をく善するよう努力したい」と、そのうことは必至だ。

病床雑詠——短歌——

三川指導部 町 佳郎

きらり降る夏の光はまぶしかり心まじく病み伏す我は
むちうちの痛みに慥と臥す我に目すがらしれ絶ゆることなし
外面(この)雨は涼気誘つらん夜ごと暑さに悩める我は
りんどうの花の香におう病室に高校野球をテレビに見たり

病室の窓辺に干せるぼろぼろの風を揺れつつ扇風機は長し
涼し風吹くるベッドにまどるめり家族(うから)のこころを思いな
として
病室の窓より見ゆる家並みは灯ともりて夜のとりりゆめ
同室の中三の患者は朝に夕に飛行機のプラモデル厭かず作れり
窓(しゃは)を見んと窓に寄りゆく同室の患者は痛き足引きすり
ながら
洗面所の隅に置きある花鉢のつぼみに朝の光は及ぶ

退職の人ひと



横田さん

こんど、次の仲間が停年のため退職されました。どうかお体に気をつけていただき、こんどは社会のためにがんばってくださいませよう
にお祈りします。

宮浦指導部関係
横田正夫さん

停年の日 八月三十一日。
お住まい 大牟田市新勝立町三の五
言葉 「無事停年を迎えることができました。これも指導部はじめ分会長、並びに分会員、特の精神を忘れずに参りたいと思っております。皆様のご健康、ご多幸をお祈り致します。」

古川三郎さん
停年の日 九月一日。
お住まい 大牟田市天道社宅十五棟。

四山指導部関係
安達正之さん
停年の日 八月十日。
お住まい 荒尾市市津区。

瀬崎哲夫さん
停年の日 八月二十六日。
お住まい 荒尾市緑ヶ丘社宅三三棟。

三川指導部関係
永津忠行さん
停年の日 八月二十八日。
お住まい 荒尾市八幡台。

時任利夫さん
停年の日 九月八日。
お住まい 大牟田市黄金町二丁目五十一番地。

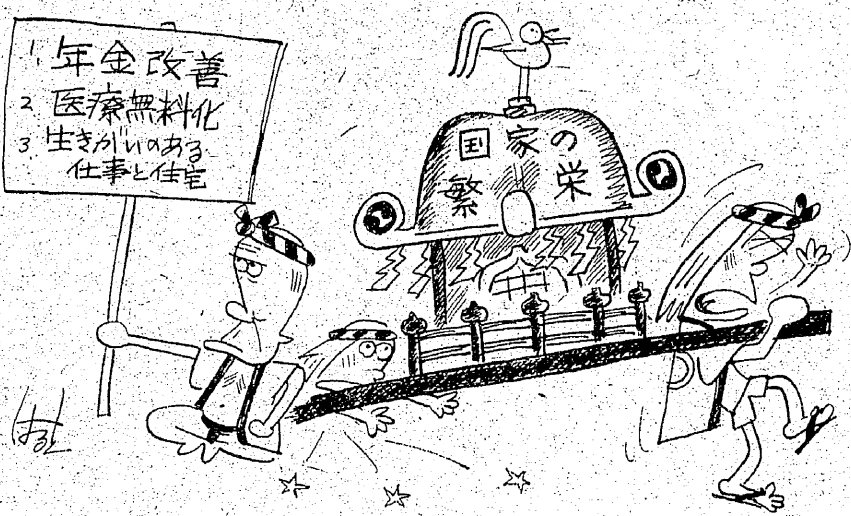
豆情報

福田内閣、「行政改革」打ち出す。特権官僚天国の弊をなくすことが先決です。

赤潮禍、ハマチなど二百三十万匹を殺す。乱開発がもたらした悲惨な、播磨灘物語。

相次ぐ子供の自殺。小さな胸にのしかかる重圧。それに負けぬ生きる力、を子供たちに。

王、ホームラン世界最高記録達成。天才とは努力を持続できる能力、とだれかが言った。



三化労組・宮本治人さんえがく

三化労組・宮本治人さんえがく